

平成24年度 道路建設技術講演会



岩田支部長



柏木孝夫特命教授



鈴木学道路調査官

平成24年度道路建設技術講演会を(一社)日本道路建設業協会中部支部主催、国土交通省中部地方整備局後援、(社)日本道路協会中部ブロック・(社)中部建設協会・(社)名古屋建設業協会・(社)日本建設業連合会中部支部・中部緊急防災協会の共催をいただき11月7日に名古屋東文化小劇場で開催しました。会場には会員の皆様、官公庁の方々を中心に230人がご参加いただきました。

開会にあたり、岩田支部長から、「社会資本整備に参加するという観点から、地域社会との共存を図り、未来に誇ることのできる仕事、より多くの国民に受け入れられる協会活動を推進していきたい。道路整備の重要性を再確認し、産学官が力を合わせて変革していくことが求められる。」と述べられた開会の挨拶につづき、講演会に入りました。

国立大学法人東京工業大学 柏木孝夫特命教授は「地球温暖化対策に向けた企業の戦略」を講演テーマに、産業構造やライフスタイルを一変させる「スマート革命」とは何かを解説。エネルギーをICT(情報通信技術)で管理することにより、再生可能エネルギーを合理的に活用するスマートコミュニティー社会が出現すること、また、道路インフラ整備の延長線上に地域主導のSPC(特定目的会社)構想などがあり、ビジネスチャンスが広がっ

ていることなどを説明されました。

国土交通省中部地方整備局 鈴木学道路調査官は「最近の道路事業について～道路の長寿命化～」を講演テーマに、道路関連予算の概要、ミッシングリンクの解消、地震津波対策、風水害対策、大都市圏環状道路の整備計画を説明したほか、道路構造物の戦略的な維持管理手法や長寿命化への取り組みを紹介されました。

参加者は熱心に講演に聞き入り、実りある講演会になりました。